

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 20 日(2024.8.20)

【公開番号】特開 2024-50853(P2024-50853A)
【公開日】令和 6 年 4 月 10 日(2024.4.10)
【年通号数】公開公報(特許)2024-066
【出願番号】特願 2024-17544(P2024-17544)
【国際特許分類】
H 0 4 N 19/70(2014.01)
【F I】
H 0 4 N 19/70

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 8 月 9 日(2024.8.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

エンコーダによって符号化されたビデオシーケンスを送信する方法であって、
前記ビデオシーケンスに関連する最大変換サイズを使用して符号化された前記ビデオシーケンスを取得するステップであって、前記最大変換サイズが 32 又は 64 である、ステップと、
前記最大変換サイズを示すハイレベルのシンタックスエレメントと共に、前記ビデオシーケンスを送信するステップと
を含み、
サブブロック変換(SBT)モードが有効である場合、前記 SBT モードを許容する最大ブロックサイズは前記最大変換サイズによって制限され、
前記最大変換サイズが 32 であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記 SBT モードを許容する前記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズである 32 と最大 SBT サイズとのいずれか小さい方であり、前記最大変換サイズが 64 であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記 SBT モードを許容する前記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズである 64 と前記最大 SBT サイズとのいずれか小さい方である、方法。

30

【請求項 2】
前記ハイレベルのシンタックスエレメントは、ビデオパラメータセット(VPS)、シーケンスパラメータセット(SPS)及びピクチャパラメータセット(PPS)のうち 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 3】
前記ハイレベルのシンタックスエレメントは、スライスヘッダ、タイルヘッダ、タイルグループヘッダ及び符号化ツリーユニット(CTU)ヘッダのうち 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】
前記最大変換サイズは、最大変換幅及び高さ又は最大変換ユニット領域に対応する、請求項 1 乃至 3 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】
符号化されたビデオシーケンスを送信するデバイスであって、

50

プログラムコードを記憶するように構成された少なくとも1つのメモリと、
前記プログラムコードを読み取って請求項1乃至4のうちいずれか1項に記載の方法を
実行するように構成された少なくとも1つのプロセッサと
を含むデバイス。

【請求項6】

符号化されたビデオシーケンスを送信するデバイスのプロセッサに、請求項1乃至4の
うちいずれか1項に記載の方法を実行させるコンピュータプログラム。

【請求項7】

エンコーダによって生成されたビデオシーケンスを含むデータ構造であって、
前記ビデオシーケンスに関連する最大変換サイズを示すハイレベルのシンタックスエレ
メントであって、前記最大変換サイズが32又は64である、ハイレベルのシンタックスエ
レメントと、

10

前記最大変換サイズを使用して符号化された前記ビデオシーケンスと
を含み、

サブブロック変換(SBT)モードが有効である場合、前記SBTモードを許容する最大プロ
ックサイズは前記最大変換サイズによって制限され、

前記最大変換サイズが32であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示
す場合、前記SBTモードを許容する前記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズであ
る32と最大SBTサイズとのいずれか小さい方であり、前記最大変換サイズが64であるこ
とを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記SBTモードを許容する前
記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズである64と前記最大SBTサイズとのい
ずれか小さい方である、データ構造。

20

30

40

50